

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

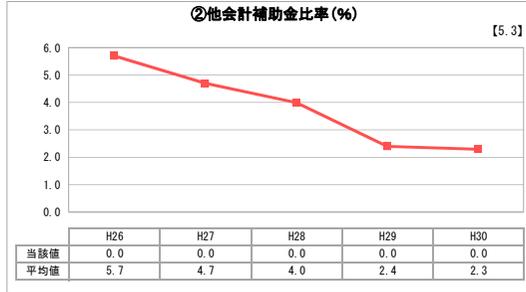
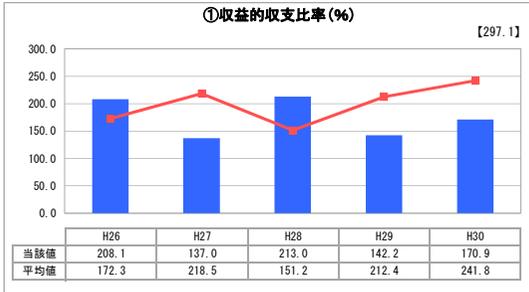
香川県丸亀市 福島駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	38	

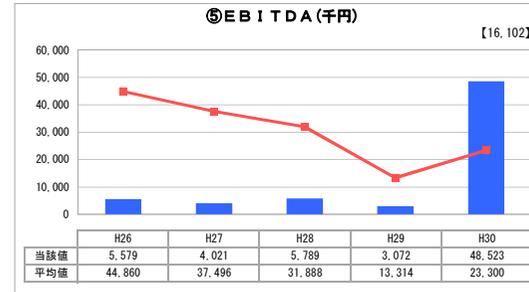
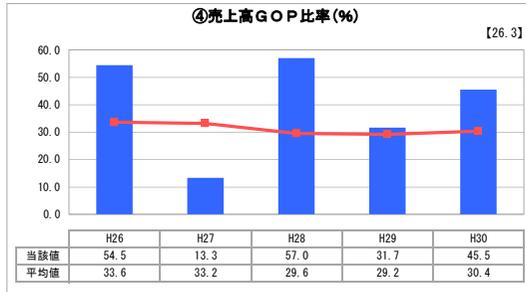
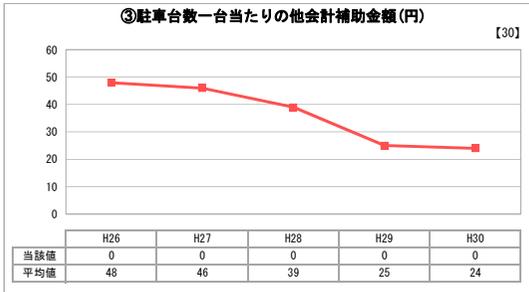
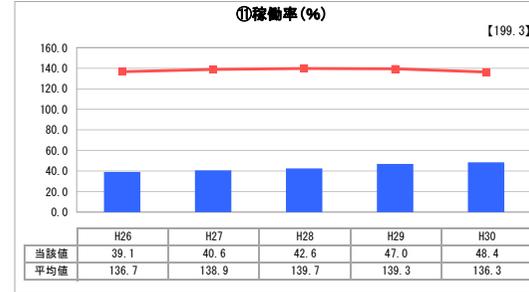
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	6,492
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
345	200	代行制

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

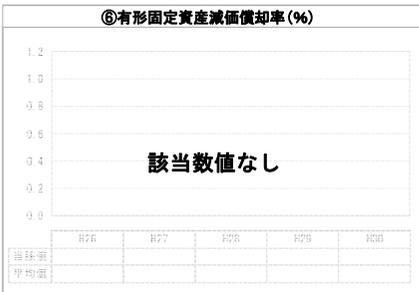
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

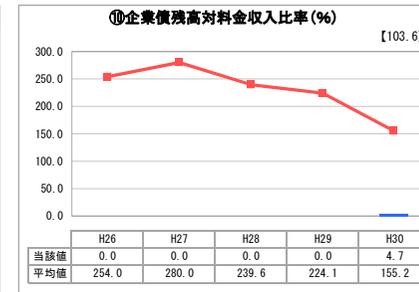
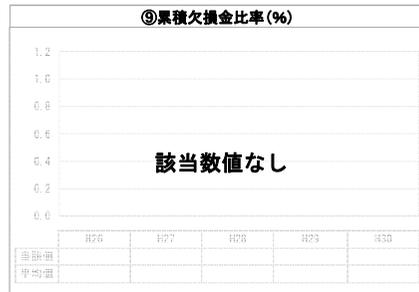


⑦敷地の地価(千円)

102,783

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率(【誤】170.9→【正】205.3)については、料金収入の増加及び工事費の減少により前年度に比べ上昇した。  
 繰入金等もなく、②他会計補助金比率と③駐車場一台当たりの他会計補助金額は0である。④売上高GOP比率(【誤】45.5→【正】53.6)については、工事費の減少により前年度に比べ上昇しており、健全な経営状況である。  
 ⑤EBITDA(【誤】48,523→【正】5,441)については、前年度に比べて上昇した。前年度から実施している最大料金設定などが、利用者に定着してきたことで、利用台数及び料金収入が増加したことによるものである。

2. 資産等の状況について  
 耐震性が低く、老朽化が進んでおり、補修・改修等に多額の費用が見込まれることから、令和2年度策定予定の経営戦略の中で、改修による存続や廃止・撤去も含めた施設のあり方について検討する。このため、現時点での⑧設備投資見込額は0としている。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率(【誤】4.7→【正】0.0)については、企業債残高はないため、0となっている。

3. 利用の状況について  
 当該駐車場は大規模な駐車場であるが、施設規模に対して利用者がかなり少ないため、①稼働率が類似施設の平均値よりも大きく下回っている。これは、隣接する商店街の衰退に伴って、当該駐車場利用者が激減したことによるものである。  
 当該駐車場は、平成29年度から実施している営業時間の24時間化や入庫から1時間以内無料、駐車開始時刻から24時間以内の最高金額を500円などの利用率向上に向けた取組みが定着してきており、前年度に比べ稼働率は上昇した。  
 また、最高金額を500円と設定したことで、駅前地下駐車場(最高金額1,000円)利用者が福島駐車場を利用するようになり、駅前地下駐車場の混雑緩和にも繋がっている。

全体総括  
 現在、収支は赤字で経営自体に問題はない。最高金額を設定したことで利用者は増加傾向にあり、料金収入も前年度に比べて微増であった。しかしながら、施設の老朽化に伴って更なる設備投資が見込まれることから、赤字幅の縮小が予想される。  
 引き続き、指定管理者と連携し、駐車場の利用促進を図るとともに、令和2年度に策定予定である経営戦略の検討を進める中で、施設のあり方を議論していく。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県丸亀市 大手町第1駐車場

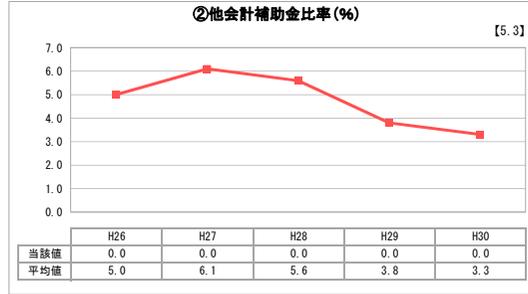
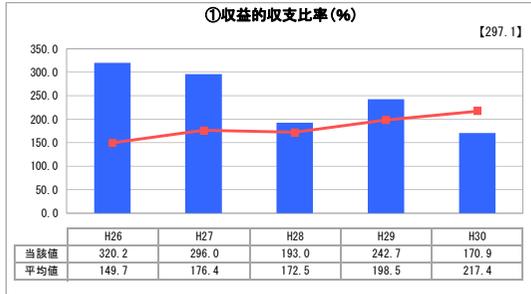
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	35	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	5,729
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
248	200	代行制

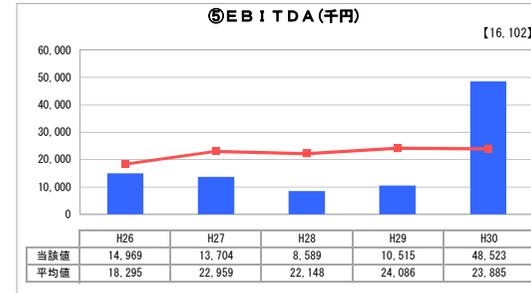
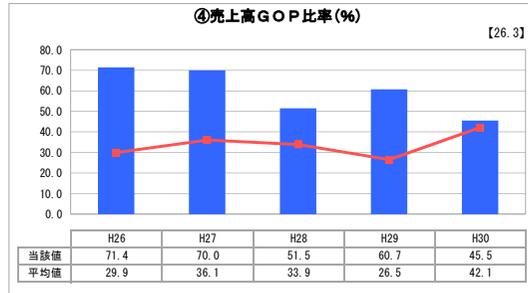
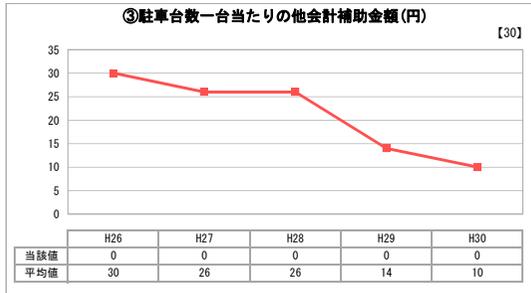
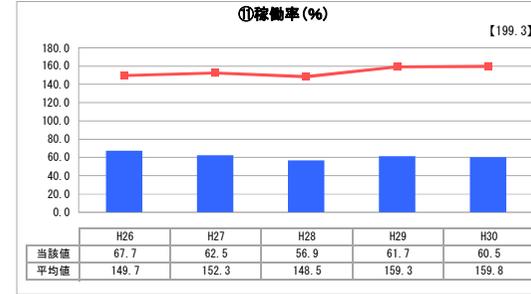
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

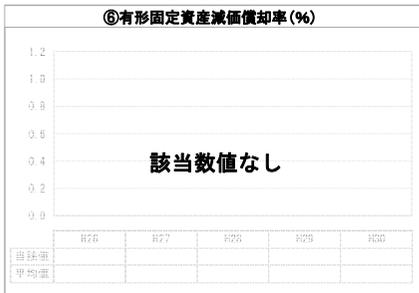
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

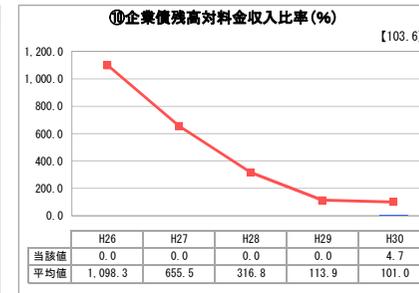


⑦敷地の地価(千円)

110,850

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率（【誤】170.9→【正】146.7）については、100%以上で収支は黒字であるが、隣接する市民会館の閉館や庁舎整備用地を無料開放等による収益の減少や老朽化対策等としての修繕費の増加により、前年度比で数値が低下している。  
 繰入金等はなく、②他会計補助金比率と③駐車場一台当たりの他会計補助金額は0であるが、④売上高GOP比率（【誤】45.5→【正】34.7）は、収益の減と費用の増により低下している。  
 ⑤EBITDA（【誤】48,523→【正】4,754）についても、前年度に比べ低下しているとともに、類似施設の平均値より大幅に低く、収益性が低下していることを示しているため、経営改善に向けた取組みが必要である。

2. 資産等の状況について  
 老朽化が進んでいることから、今後大規模改修工事が必要であるとともに、庁舎の建替え等の公共施設の再編整備への対応も必要であることから、令和2年度策定予定の経営戦略の検討の中で、今後の設備投資の見込みを示すことになっている。このため、現時点での⑧設備投資見込額は0としている。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率（【誤】4.7→【正】0.0）については、企業債残高はないため、0となっている。

3. 利用の状況について  
 ①稼働率については、類似施設平均値を大きく下回り、ほぼ横ばいで推移している。当該駐車場周辺に民間の割安なコインパーキングが増加したことにより、稼働率が低くなっていると考えられる。このため利用率の向上を図る取り組みとして、平成30年度において営業時間の24時間化を実施した。

全体総括  
 現在、収支は黒字で経営自体に問題はない。しかしながら、施設の老朽化に伴ってさらなる設備投資が見込まれることから、今後黒字幅の減少が予想される。  
 また、令和2年度には市民会館跡地へ庁舎が建て替えられることになっており、当該駐車場周辺は大幅に再編される予定である。この再編整備にあわせて、令和2年度に策定を予定している経営戦略の検討を進める中で、施設のあり方や長期的な需要の見直しについて議論していく。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県丸亀市 大手町第2駐車場

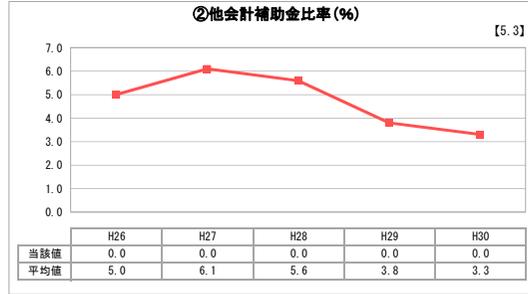
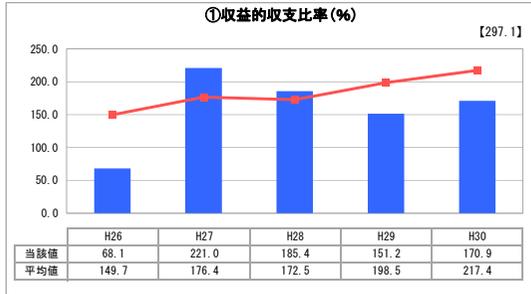
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	49	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	2,877
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
176	200	代行制

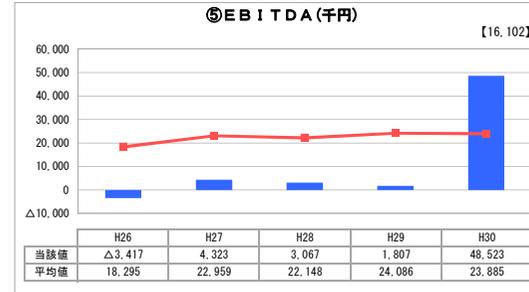
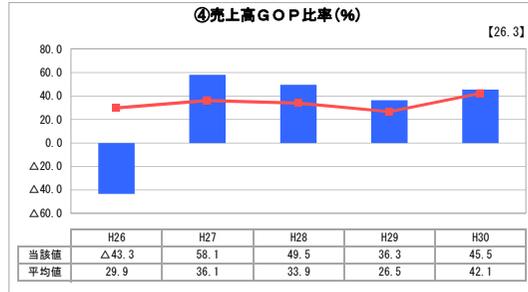
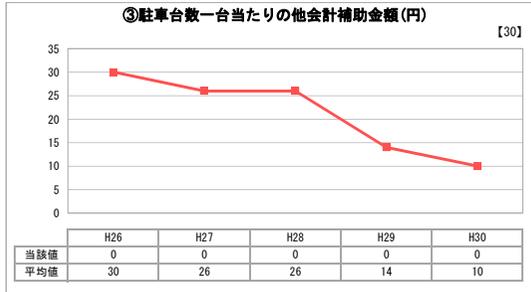
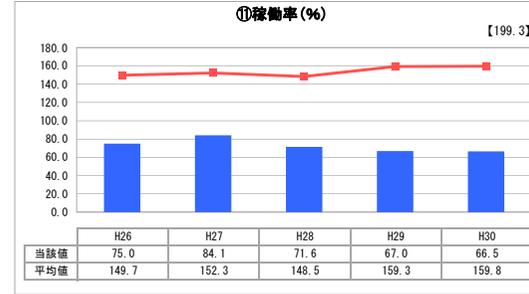
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

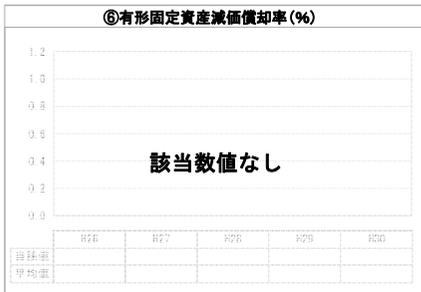
## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

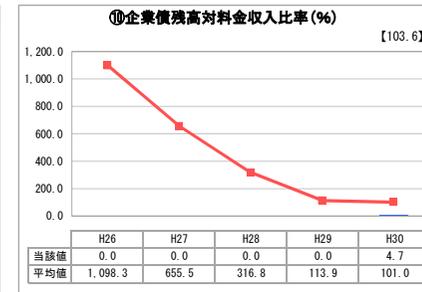
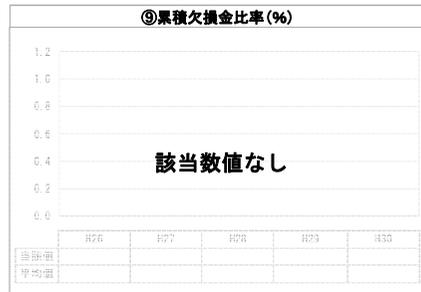


⑦敷地の地価(千円)

175,253

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①収益的収支比率（【誤】170.9→【正】143.7）については、100%以上で収支は黒字であるが、老朽化対策等としての修繕費の増加により、前年度比べ数値が低下している。  
 繰入金等はなく②他会計補助金比率と③駐車場一台当たりの他会計補助金額は0があるが、④売上高GOP比率（【誤】45.5→【正】32.5）は、費用の増により低下している。  
 ⑤EBITDA（【誤】48,523→【正】1,825）については、類似施設の平均値を下回っており、総収益が低いことが要因と考えられる。  
 なお、平成27年度の指定管理者の変更に伴って当該駐車場にかかる人件費が削減できたことにより、①収益的収支比率、④売上高GOP比率、⑤EBITDAの数値は増加している。

**2. 資産等の状況について**  
 老朽化が進み、消火設備や外壁の改修工事など、大規模改修工事に多額の費用がかかる見込みである。また、当該駐車場周辺は市庁舎等複合施設の整備に伴い大幅に再編されるため、令和2年度策定予定の経営戦略で、当該駐車場の施設のあり方についても検討する。このため、現時点での⑧設備投資見込額は0としている。  
 ⑩企業債残高対料金収入比率（【誤】4.7→【正】0.0）については、企業債残高はないため、0である。

**3. 利用の状況について**  
 ①稼働率については、類似施設平均値を大きく下回り、低下傾向にある。これは、当該駐車場周辺に民間の割安なコインパーキングが増加したことによるものと考えられる。また、当該駐車場はこれまで、隣接する市民会館利用者が利用する駐車場であったが、平成28年度で市民会館が閉館になったことにより、利用者数が減少していることも稼働率が低下している要因である。  
 利用率向上のため、平成30年度において営業時間の24時間化を実施した。

**全体総括**  
 現在、収支は黒字で経営自体に問題はない。しかしながら、当該駐車場は市民会館の閉館により利用者数が減少傾向にあり、黒字幅の縮小が予想される。  
 また、令和2年度には市民会館跡地へ市庁舎が建て替えられることになっており、当該駐車場周辺は大幅に再編される予定である。この再編整備にあわせて、施設のあり方や長期的な駐車場需要を見通したうえで、令和2年度策定予定の経営戦略の検討を進めていく。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

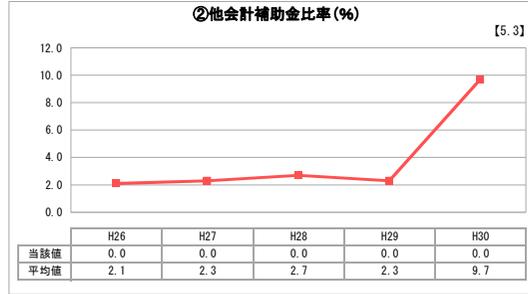
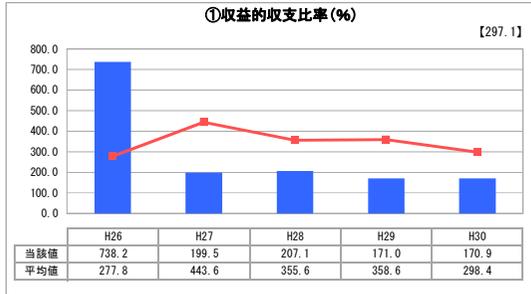
香川県丸亀市 大手町第3駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	42	

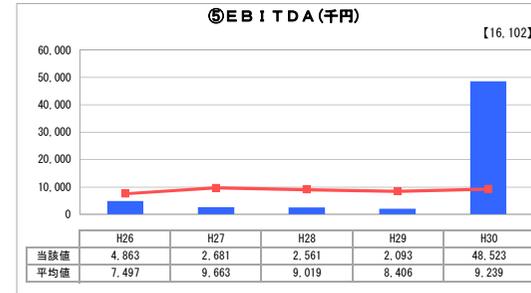
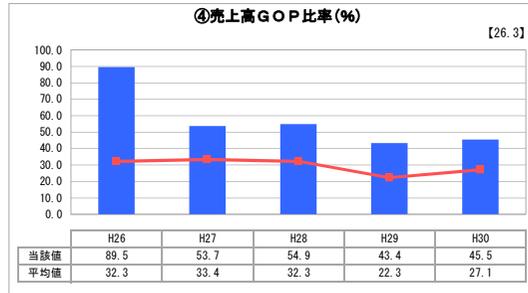
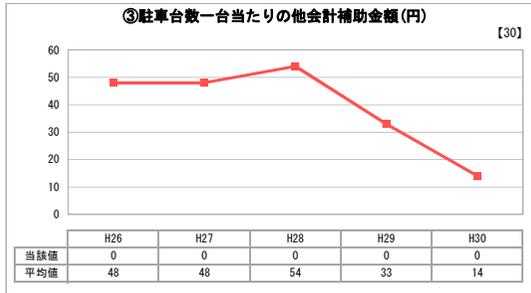
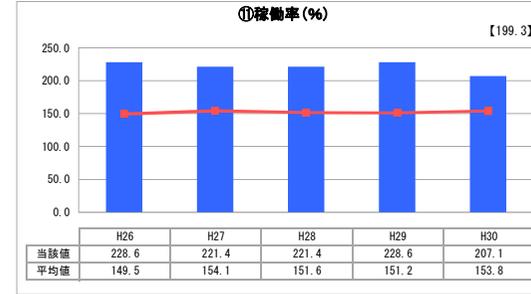
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	356
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
14	200	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

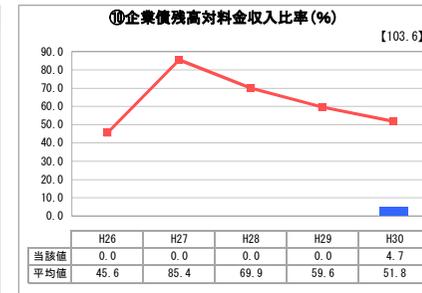
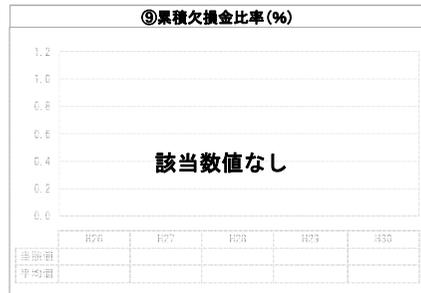


⑦敷地の地価(千円)

24,912

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率（【誤】170.9→【正】187.5）については、修繕費用の増加により前年度に比べ低下したが、100%以上であり、収支は黒字である。  
 当該駐車場はコインパーキングのため、施設の改修費等の営業費用が抑えられることから、④売上高GOP比率（【誤】45.5→【正】49.1）は高くなっている。  
 繰入金等もなく②他会計補助金比率と③駐車場一台当たりの他会計補助金額は0であるため、経営は健全である。  
 ⑤EBITDA（【誤】48,523→【正】2,351）については、周辺に割安な民間駐車場が増加したことにより当該駐車場利用者の減少が進み、総収益が低くなっており、類似施設と比較しても低い数値となっている。

2. 資産等の状況について  
 コインパーキングのため施設の改修費等がかからず、⑧設備投資見込額については0である。  
 また、企業債務高もないため、⑩企業債務高対料金収入比率（【誤】4.7→【正】0.0）も0である。

3. 利用の状況について  
 当該駐車場は、飲食店街にある24時間営業のコインパーキングであるため、①稼働率は高く、類似施設平均値を上回っている。しかしながら、周辺に割安の民間駐車場が増加し、駐車場利用者は徐々に減少している。今後は、指定管理者と連携しながら、利用者の増加に繋がる取組みを検討したい。

全体総括  
 現在、収支は黒字で稼働率もよく、経営自体に問題は無い。  
 令和2年度に策定を予定している経営戦略の中で、安定した収益を維持し、さらには拡大を目指すことを目標に、指定管理者と連携した取組みを検討したい。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

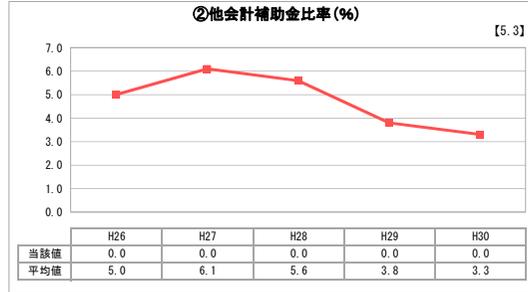
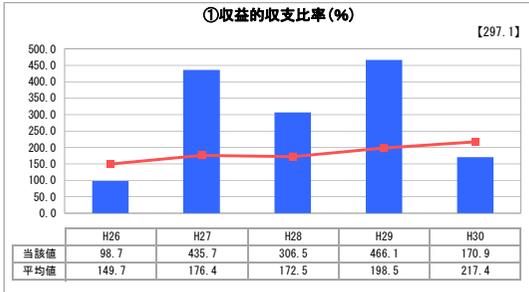
香川県丸亀市 大手町西駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	24	

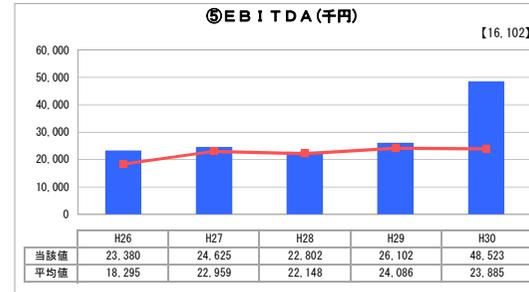
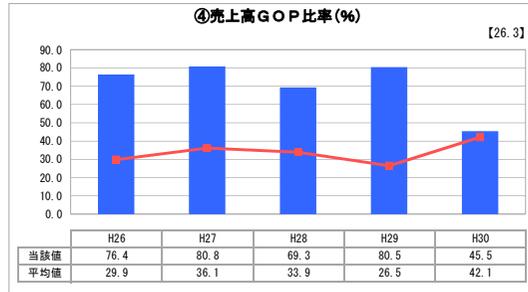
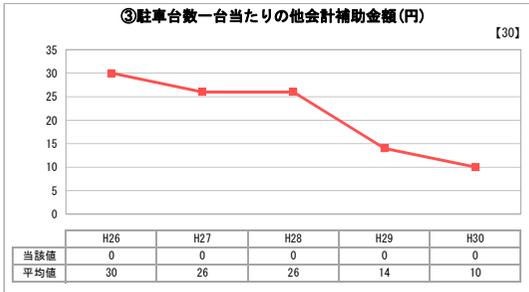
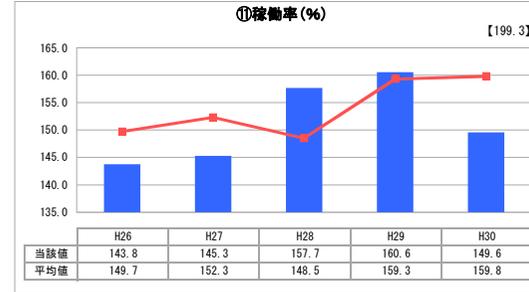
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	1,739
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
137	200	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

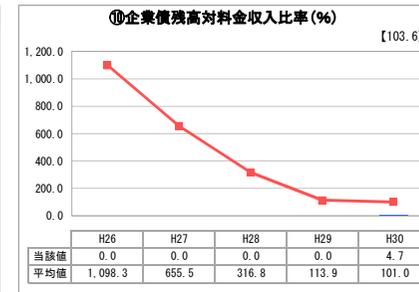
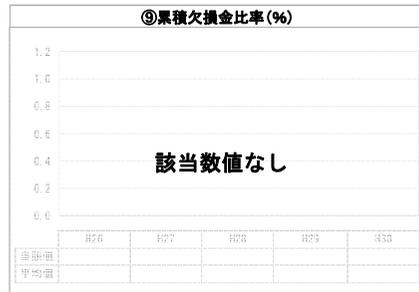


⑦敷地の地価(千円)

78,300

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率（【誤】170.9→【正】430.1）については、収支は黒字となっており、平均値も大幅に上回っている。

繰入金等もなく②他会計補助金比率と③駐車場一台当たりの他会計補助金額は0であり、⑤売上GOP比率（【誤】45.5→【正】79.3）についても、類似施設の平均値を上回り、健全な経営ができています。

⑤EBITDA（【誤】48,523→【正】24,163）については、駐車場利用者が比較的多いため総収益が高く、かつ、工事費等を含む総費用が低いため、他駐車場と比較して高い数値となり、類似施設平均値とほぼ変わらない状況である。

## 2. 資産等の状況について

他の市営駐車場に比べ新しい施設であるが、構造が立体式で施設規模も大きく、今後は外壁修繕や消火設備の改修、防水工事などの大規模修繕工事が見込まれるため、③設備投資見込額（【誤】0→【正】508,832）が大きくなっている。こまめな部分修繕により劣化を最小限に抑え、大規模修繕にかかる費用の抑制を図りたい。

⑩企業債残高対料金収入比率（【誤】4.7→【正】0.0）については、企業債残高はないため、0である。

## 3. 利用の状況について

当該駐車場は、付近に官公庁や企業があるとともに、飲食店街も近接していることから昼間、夜間ともに多くの利用がある。しかしながら、近隣において民間駐車場が増加したことや建設工事の完了に伴う定期契約の減少等により、利用者が減少したことで①稼働率も低下した。

## 全体総括

現在、収支は黒字で経営自体に問題はなく、安定して黒字での経営ができていますが、前年度に比べ利用台数、使用料とも減少した。  
 建設後の経過年数は他駐車場と比べて小さく、設備投資見込額も低いため、現状の収支は良い結果となっている。  
 しかしながら、いずれ立体式駐車場は設備投資費も多額になることを踏まえ、令和2年度策定予定の経営戦略の中で、更新時期に向けて修繕費や更新費用について議論してまいりたい。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

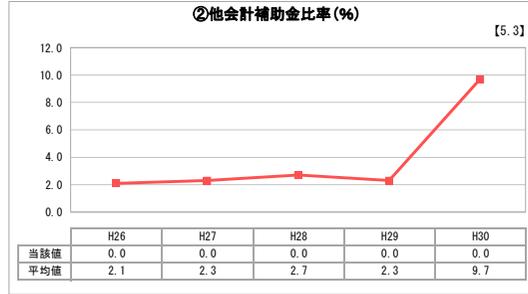
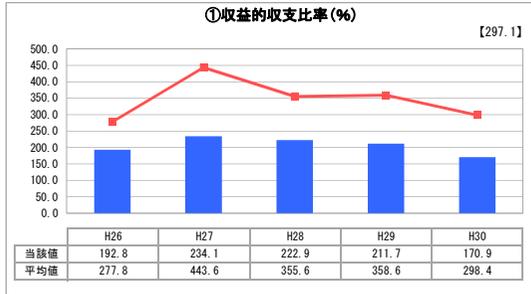
香川県丸亀市 港駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	30	

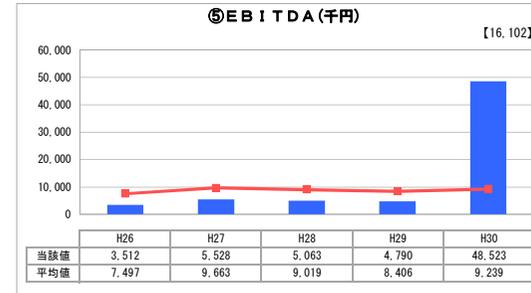
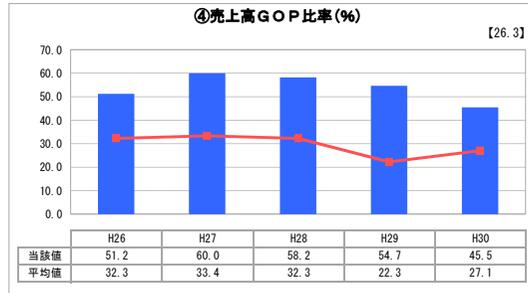
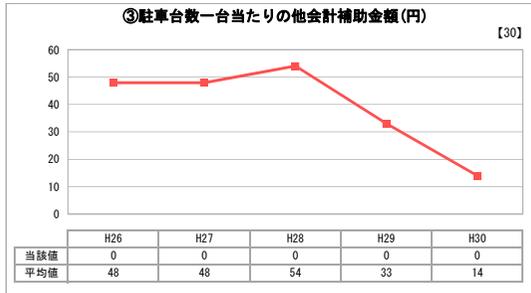
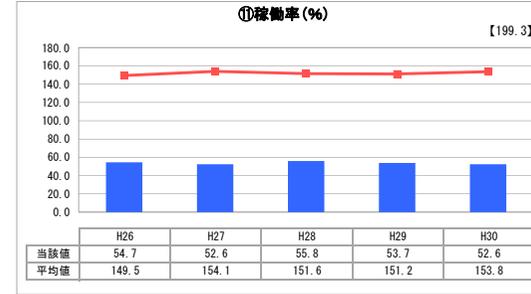
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	2,472
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
95	200	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

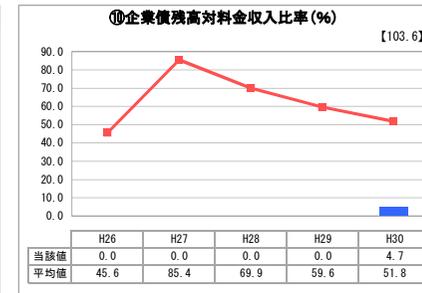


⑦敷地の地価(千円)

50,767

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益的収支比率（【誤】170.9→【正】190.6）については、100%以上であり、収支は黒字である。利用者がほぼ島しょ部航路利用者に限られており、料金収入に変動が少ないため、収益的収支比率はほぼ横ばいで推移している。  
 広場式駐車場であり施設の改修費等の費用が抑えられているので、④売上高GOP比率（【誤】45.5→【正】50.1）は、低下傾向ではあるが、高くなっている。  
 繰入金等もなく②他会計補助金比率と③駐車場一台当たりの他会計補助金額は0であるため、経営は健全である。  
 ⑤EBITDA（【誤】48,523→【正】4,071）については、利用者がほぼ島しょ部航路利用者に限られているため総収益が低く、平均値よりも大幅に低くなっている。

2. 資産等の状況について  
 広場式駐車場のため、⑧設備投資見込額については0である。  
 また、企業債残高もないため、⑩企業債残高対料金収入比率（【誤】4.7→【正】0.0）も0である。

3. 利用の状況について  
 駐車場利用者がほぼ島しょ部航路利用者に限られているため、利用は安定しているが、①稼働率は類似施設平均値よりも大幅に低くなっている。  
 大型バスが駐車できる唯一の市営駐車場であるため、年に数回島しょ部へのツアー客による大型バスでの利用がある。

## 全体総括

現在、収支は黒字で経営自体に問題はない。駐車場利用者が島しょ部航路利用者に限られているため利用者数はほぼ横ばいであるが、指定管理者や離島振興部局と連携し、島しょ部への観光客に向けた駐車場PR等を積極的に行うことで、利用率向上に努めたい。  
 令和2年度に策定を予定している経営戦略の中でも、現行体制での更なる収益増加に向けた取組みを検討していく。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県丸亀市 駅前地下駐車場

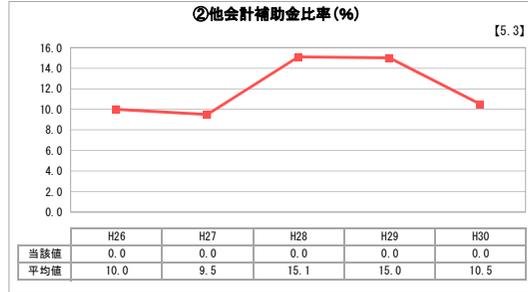
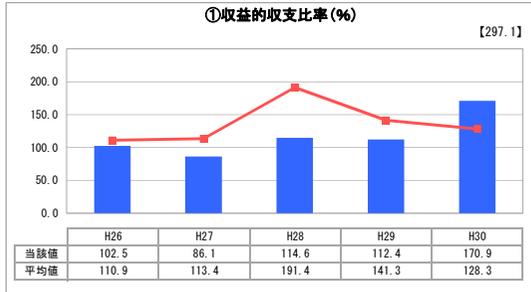
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	28	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	4,123
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
263	200	代行制

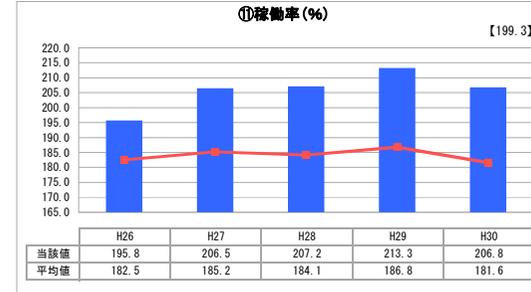
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 ①収益的収支比率（【誤】170.9→【正】119.6）については、100%以上であり、収支は黒字である。繰入金等もなく②他会計補助金比率と③駐車場一台当たりの他会計補助金額は0であり、健全な経営ができていけると言える。  
 ④売上高GOP比率（【誤】45.5→【正】18.7）については、類似施設平均値を上回っているが、⑤EBITDA（【誤】48,523→【正】5,918）については、類似施設平均値を大幅に下回っている。これは、当該駐車場が駅前に立地しており使用料収入による収益が比較的多くくなっている一方で、人件費や施設の経年劣化による修繕費等の費用も多く要するため、結果的に低い数値となっている。

## 2. 資産等の状況について

当該駐車場が地下構造で、今後老朽化による大規模修繕が必要になってくるため、⑧設備投資見込額（【誤】0→【正】2,007,948）が高くなっている。他駐車場の老朽化の状況も見ながら、計画的かつ適正な設備投資に努めたい。  
 ⑩企業債権高対料金収入比率（【誤】4.7→【正】14.6）については、平成28年度に実施した防犯カメラ設置工事にかかる地方債残高があるが、類似施設の平均値よりは大幅に下回っている。

## 3. 利用の状況について

当該駐車場は、駅前に立地していることや、近隣に美術館や図書館もあるため利用者が多く、①稼働率が平均値よりも大幅に高くなっている。地下1階部は頻繁に満車になるため、駅北側にある利用者数の少ない福島駐車場の最高金額を500円に設定し、当該駐車場（最高金額1,000円）の混雑緩和と福島駐車場の利用促進を図っていることもあり、前年度に比べ稼働率が低下している。

## 全体総括

現在、収支は黒字で経営自体に問題はない。当該駐車場は、平成21年度より駐車開始時刻から1時間以内を無料にしたことで、利用者数は増加し、使用料も増加傾向にある。しかしながら、地下構造であるため、施設の改修に膨大な費用がかかっており、今後老朽化に伴って更なる設備投資が見込まれる。  
 令和2年度に策定を予定している経営戦略の中で、今後10年間にかかる修繕費や更新費用の見込みを算出するとともに、さらなる利用促進を図る取組みを検討したい。

## 2. 資産等の状況

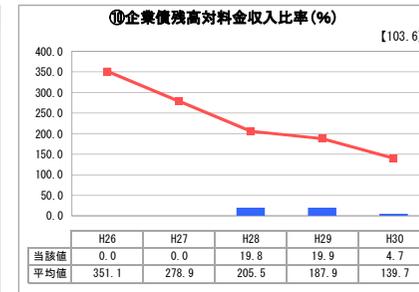


⑦敷地の地価(千円)

401,449

⑧設備投資見込額(千円)

0



# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県 丸亀市

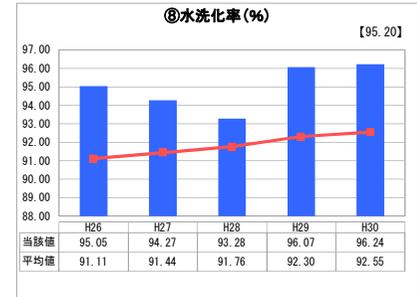
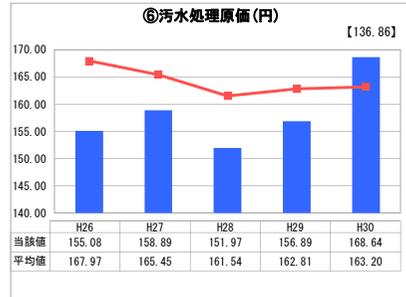
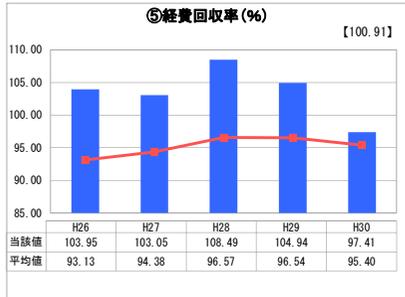
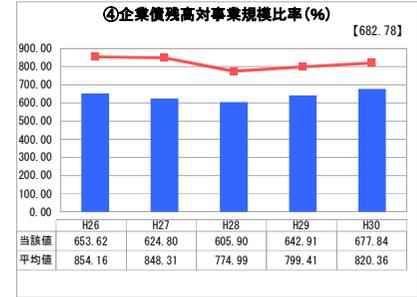
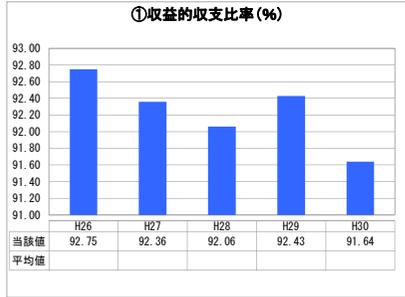
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	40.71	71.23	2,365

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
113,066	111.83	1,011.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
45,938	15.88	2,892.82

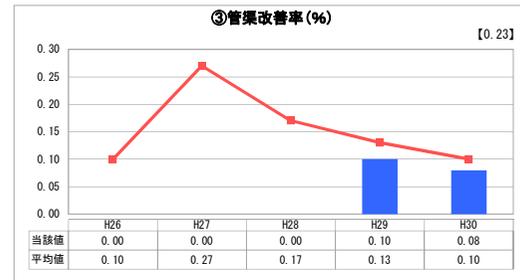
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は、使用料収入の減等により昨年度より低下し、約91%となっている。  
 ④企業債残高対事業規模比率は増加傾向にあり、使用料収入に対する企業債残高の割合は高いが、類似団体平均値よりは低く抑えられている。  
 ⑤経費回収率は、汚水処理費用の増加と使用料収入の減少により、昨年度よりさらに低下し、平成30年度は100%を下回った。  
 ⑥汚水処理原価は、汚水処理費用の増加と有収水量の減少により、昨年度より大幅に増加しており、汚水処理に係るコストが類似団体平均値より高くなっている。  
 ⑦施設利用率は、昨年度とほぼ同じ値で推移している。浄化センターは、合流区域から流入する異常降水時の初期降雨の一時貯留池としても利用している。  
 ⑧水洗化率は、3カ年（平成28年度～平成30年度）の水洗化促進活動計画に基づき、各戸への訪問等、確実な事業実施により、昨年度よりやや上昇した。今後も継続的に下水道への接続をお願いしていく。

### 2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は、平成30年度は0.08%である。実績としては、平成28年度に0.33km、平成29年度に0.29km、平成30年度に0.23kmの管渠更生を行っている。丸亀処理区は、供用開始から40年以上が経過し、老朽化が進んでいる管渠があることから、平成27年度に策定した長寿命化計画に基づいて管渠更生による長寿命化工事を行っている。  
 浄化センター及びポンプ場についても老朽化が進んでいることから、平成25年度に長寿命化計画を策定し、平成26年度から長寿命化工事に着手している。また、平成29年度からは、新浄化センターの建設工事に着手し、水処理施設の建設を進めている。平成29年度にはストックマネジメント（簡易版）を策定し、平成30年度からは、それに基づき、計画的に改築・更新を進めている。

### 全体総括

経費回収率はここ数年100%を超えていたが、平成30年度は100%を下回った。浄化センターやポンプ場の運転管理委託料が労務単価の上昇により昨年度より増加したことや企業債償還金の増加等が影響して汚水処理費用が増えた反面、人口減少や節水などで有収水量は減少し、使用料収入が減ったことが主な要因である。

老朽化した管渠や施設の長寿命化工事、新浄化センターの建設等に伴い、企業債の借入れも増える見込みである。より効率的に改築・更新できるよう、平成30年度から令和2年度にかけて、次期のストックマネジメント計画を策定する。

また、令和2年4月から地方公営企業法の一部適用を開始予定であるため、持続的な下水道経営ができるよう、平成28年度に策定した丸亀市下水道事業経営戦略の見直しを行い、適正な下水道使用料水準を検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県 丸亀市

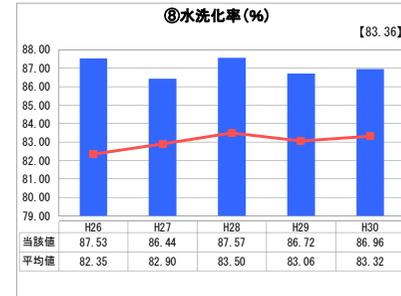
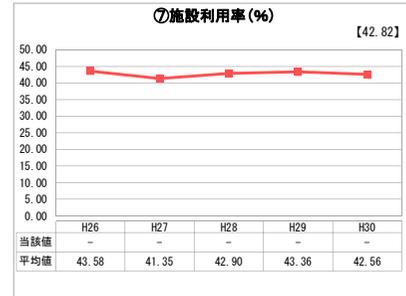
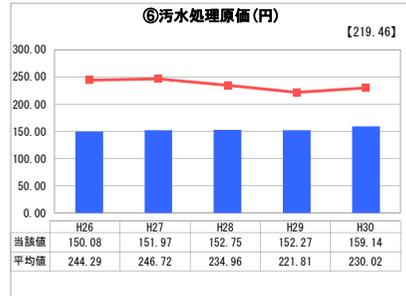
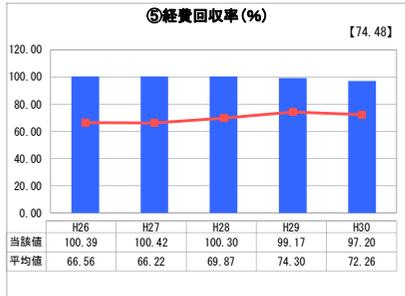
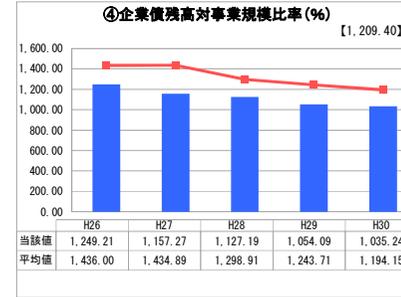
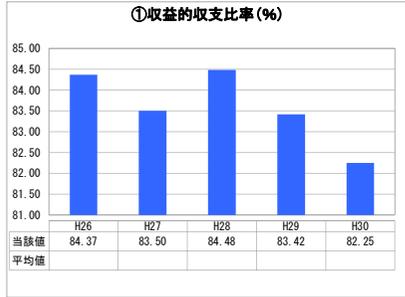
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.24	90.91	2,365

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
113,066	111.83	1,011.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,658	1.34	2,729.85

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

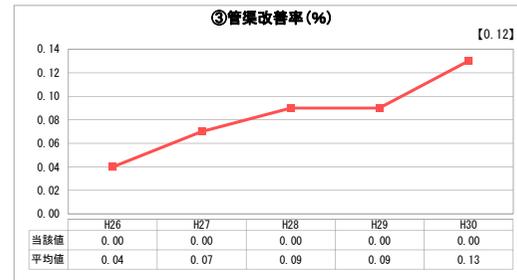
### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は、約83～84%で増減を繰り返しているが、平成30年度は、主に企業債償還金の増により昨年度よりさらに低下している。  
 ②累積欠損金比率は、該当数値なし。  
 ③流動比率は、該当数値なし。  
 ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値よりも低く、使用料収入に対する企業債残高の割合は減少傾向にある。  
 ⑤経費回収率は、平成30年度は約97%であり、昨年度よりさらに低下している。企業債償還金の増により汚水処理費用が増加したことなどが主な要因である。  
 ⑥汚水処理原価は、主に企業債償還金の増により汚水処理費用が増加したことから、昨年度より増加している。  
 ⑦施設利用率については、中讃流域下水道へ接続しているため、終末処理場を有しておらず、該当する指標がない。  
 ⑧水洗化率は、3カ年（平成28年度～平成30年度）の水洗化促進活動計画に基づき、各戸への訪問等、確実な事業実施により、昨年度よりやや上昇した。今後も継続的に下水道への接続をお願いしていく。

### 2. 老朽化の状況について

③供用開始してから約20年と比較的新しいことから、管渠更生は実施しておらず、管渠改善率は0%となっている。今後も事業計画に基づき、管渠の新設工事を行っていく予定である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

供用開始してから比較的新しいため、建設改良費は、主に事業計画に基づく管渠の新設工事を見込んでいる。中讃流域下水道へ接続しており、独自で終末処理場を持っていないことから、維持管理費用や建設費用が低く抑えられており、経費回収率や汚水処理原価は類似団体平均値より良好である。しかし、経費回収率は平成29年度から100%を下回っている。今後は有収水量の減少により使用料収入が減り、さらに経費回収率が低下すると考えられる。  
 令和2年4月から地方公営企業法の一部適用を開始予定であるため、持続的な下水道経営ができるよう、平成28年度に策定した丸亀市下水道事業経営戦略の見直しを行い、適正な下水道使用料水準を検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県 丸亀市

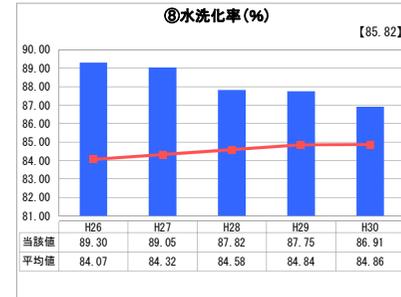
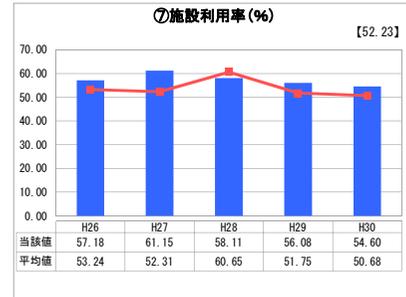
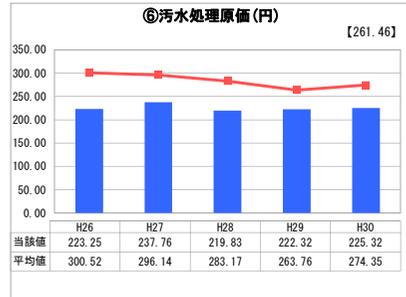
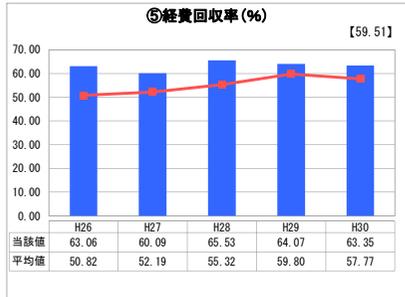
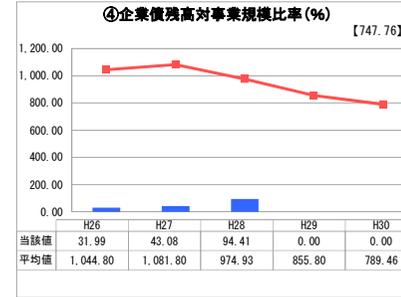
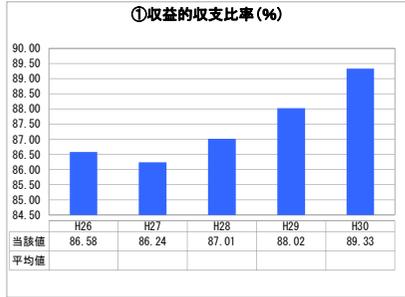
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.57	101.33	2,365

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
113,066	111.83	1,011.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,902	1.23	2,359.35

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、平成30年度は約89%であり昨年度より上昇しているが、これは主に繰入金の収入増によるものである。

②企業債残高対事業規模比率は、企業債の償還に充てる使用料収入が不足しているため、その償還費用を繰入金と資本費平準化債で賄ったことから、平成29年度と平成30年度は比率が0%となっている。

③経費回収率は、使用料収入の減により昨年度よりさらに低下し、平成30年度は約63%となっている。類似団体平均値よりは上回っているものの、汚水処理費用を使用料収入で賄えていない状態である。

④汚水処理原価は、汚水処理費用の減少率より有収水量の減少率が大きかったため、昨年度より増加しており、汚水処理に係るコストが高くなっている。

⑤施設利用率は、晴天時の一日平均処理水量の減少により昨年度よりやや低下しているが、類似団体平均値よりは高くなっている。

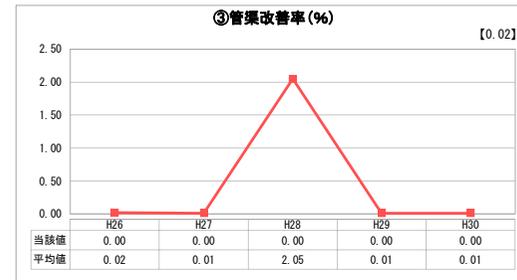
⑥水洗化率は、3カ年（平成28年度～平成30年度）の水洗化促進活動計画に基づき、各戸への訪問等、事業を実施したが、人口減少等により、昨年度よりやや低下した。今後も継続的に下水道への接続をお願いしていく。

### 2. 老朽化の状況について

③4箇所の農業集落排水処理施設は供用開始してから約10～20年と比較的新しいことから、管渠更生は実施しておらず、管渠改善率は0%となっている。

今後、設備の老朽化に伴い長寿命化工事の実施が見込まれることから、平成28年度に農業集落排水処理施設の機能診断を実施し、診断結果を受けて、平成29年度に施設の最適整備構想を策定した。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

農業集落排水施設の整備は完了しており、建設投資は主に維持補修費である。使用料対象経費としては、維持管理費用と企業債の元利償還金であるが、経費回収率に現れているとおり、経営状況は、使用料収入で汚水処理費用を賄うことが困難な状況である。

今後、平成29年度に策定した最適整備構想と公共下水道への接続を視野に入れて、関係機関との調整を進めていく。

また、令和2年4月から地方公営企業法の一部適用を開始予定であるため、平成28年度に策定した丸亀市下水道事業経営戦略の見直しを行い、農業集落排水事業の経営を総合的に検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。